

BOYA

BOYALINK 3

AI搭載ボタン型ワイヤレスマイク

ユーザーマニュアル

声明：

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、使用方法、保管方法を厳守してください。取扱説明書は大切に保管してください。取扱説明書をご覧になっても解決できない問題がある場合は、販売店にお問い合わせ せいただくか、当社まで電子メールでお問い合わせください：
support@boya-mic.com

注意事項

1. 本製品を無断で分解しないでください。
2. ラジエーターやスポットライトなど、発熱する機器の近くに置かないでください。
3. 電池はご自身で交換できません。
4. 乾いた柔らかい布を使って、本体のお手入れを行ってください。
5. 本機を使用・保管する際は、ほこりや湿気に対する保護にご注意ください。
6. 音声をよく拾うために、マイクの上に手を置かないでください。

概要：

BOYALINK 3 は、業界最先端の AI ノイズ低減機能を搭載し、各発信機に最大 4 台の受信機を同時接続できる、小型でポータブルな 2.4GHz ワイヤレスマイクロフォンシステムです。シンプルで使いやすくて、コンテンツ制作、ライブ放送、Vlog 撮影、モバイルジャーナリズムなどに最適です。

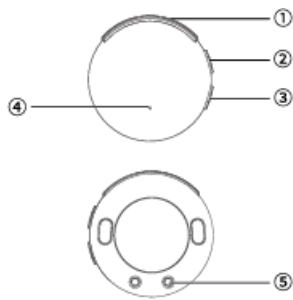
BOYALINK 3 は、USB-C と Lightning の両方の変換アダプターを装備し、3.5 mm TRS - TRS オーディオケーブルが付属しており、スマートフォン、タブレット、コンピューター、カメラなどのデバイスに幅広く対応可能。また、USB-C 充電ポートを搭載しており、録音中に受信機と携帯電話などの外部機器を充電することができます。さらに、充電ケースは送信機と受信機の両方にモバイル電源を供給するため、充電の悩みを素早く解決し、外出先への持ち運びも簡単です。

特徴

- ・最大 40dB の真 AI ディープノイズ低減
- ・85dB 高 S/N 比、HIFI グレードの音質を実現
- ・オートゲイン、リミッター、セーフティトラックによるトリプルリアリティ
- ・革新的な 2-送信-4-受信モード、最大 8 台のデバイス同期を対応可能
- ・金属ダスト・ネット付き 9g ボタン・マイク、超隠蔽
- ・EQ チューニングを通じて、音色のカスタマイズが可能

製品構造

送信機 (BOYALINK 3-TX)



①内臓式マイク

②電源ボタン

- ・ 2 秒間長押しで ON/OFF 切り替え。
- ・ 短押しでミュートの ON/OFF 切替
- ・ 電源オフの状態で 5 秒間長押しするとペアリング状態になります。

③ノイズ低減ボタン

- ・ 短押しでノイズ低減機能の ON/OFF が可能。
- ・ 受信機と携帯電話が接続されている場合、送信機のノイズ低減ボタンをダブルクリックすると、携帯電話撮影ができます（音量ボタンによる撮影機能に対応する機種に限る）

④ステータスインジケータ

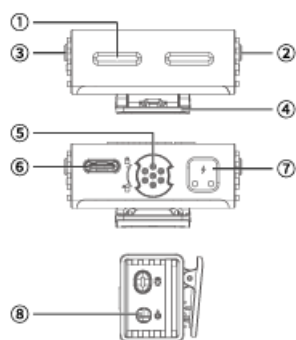
ステータス	インジケータ
未接続	青色ゆっくり点滅
ペアリング中	青色早く点滅
接続中	青色常時点灯
ミュートオン	赤色光ゆっくり点滅
ノイズ低減オン	緑色常時点灯
低バッテリー警告	赤色光早く点滅
充電中	赤色常時点灯
フル充電	赤色消灯
ファームウェアのアップグレード中	赤と緑が交互に点滅

- ・ 送信機がペアリング状態に入ると、インジケータランプが青く点滅し（5 分間）、受信機とのペアリングを待ちます。上記時間を超えると、ペアリングモードを終了し、インジケータが青色ゆっくり点滅します。
- ・ バッテリー残量が少ない場合は、送信機を充電してください。充電しないと、送信機は 10 分後に自動的に電源が切れます。

⑤充電接点

充電ケースの接点に接続すると充電開始します。

受信機 (BOYALINK 3-RX)



①ステータス／ゲインインジケータ

- ・ステータスインジケータ（受信機が2台の送信機に接続されている場合）

ステータス	インジケータ
未接続	4つの青灯がゆっくり点滅
ペアリング中	4つの青灯が早く点滅
接続中	4つの青灯が常時点灯
弱ノイズ低減オン	左側の2つ緑灯が2回点滅
強ノイズ低減オン	4つの緑灯が2回点滅
低バッテリー警告	4つの赤灯が早く点滅
充電中	4つの赤灯が常時点灯
フル充電	赤灯消灯
ファームウェア・アップグレード中	赤と緑が交互に点滅

注：受信機がペアリング状態に入ると、ステータスインジケータが青く早く点滅し（5分間）、送信機とのペアリングを待ちます。時間オーバーすると、ペアリング状態を終了し、青灯が遅く点滅します。

- ・ゲインインジケータ

機能	インジケータ
レベル 1	
レベル 2	
レベル 3	
レベル 4	

注：ゲイン・インジケータは、2秒間点灯し続けると自動的に作業状態インジケータに変わります

②電源ボタン

- ・2秒間長押しすると電源のオン・オフを切り替えます。
- ・電源オフの状態ですら5秒間長押しするとペアリング状態になります。

③設定ボタン

- ・短押しでゲインレベルを調整します。

・送信機ノイズ低減 ON の状態に、受信機設定ボタンをダブルクリックすると、ノイズ低減の強弱を切り替えることができます。

④クリップ

カメラのコールドシューポートに取り付けます。

⑤接続接点

標準の Lightning / USB-C アダプターを使用して、受信機をスマートフォンやコンピューターなどのモバイル機器に接続します。

⑥USB-C タイプ充電ポート

- ・標準的な USB-C ツーUSB-A ケーブルに接続して、受信機を充電することができます。
- ・Lightning / USB-C アダプター付き受信機をスマートフォンやタブレットなどの外部デバイスに接続すると、この充電ポートを介して受信機と外部デバイスへの同時充電が可能になります。

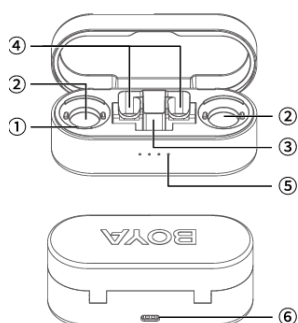
⑦充電接点

充電ケースの接点に接続すると充電開始します。

⑧3.5mm TRS オーディオ出力

カメラへの音声出力用。

充電ケース (BOYALINK 3-CC)



①充電接点

②送信機凹み

③受信機凹み

④アダプター凹み

⑤インジケータ

表中のインジケータは以下のように定義されます。

※はインジケータ点滅を、○はインジケータ点灯、●はインジケータ消灯を表します。

・充電ケースが電源に接続されず（非充電状態）、充電ケースを開けるとき、または送信機と受信機をケースに入れたとき、インジケータは充電ケースの現在残電量を表示します。

充電ケース残電量	インジケータ
0～10%	※ ● ● ●
11～25%	○ ● ● ●
26～49%	○ ○ ● ●
50～74%	○ ○ ○ ●

75～100%	○ ○ ○ ○
---------	---------

注：・充電ケースが≤10%の場合、残量が極端に少なく、送受信機への充電に対応しません

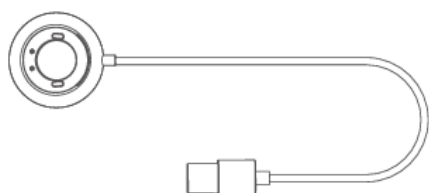
・充電ケースが再び電源に接続されている場合、下記インジケータはケースの充電状態を示します。

充電ケース残電量	インジケータ
< 25%	☼ ● ● ●
25%～49%	○ ☼ ● ●
50～74%	○ ○ ☼ ●
75～99%	○ ○ ○ ☼
フル充電	○ ○ ○ ○

⑥USB-C 充電ポート

標準の USB-C ツーUSB-C ケーブルを接続して、充電ケース本体を充電します。

接触式充電ケーブル



ご購入のセットに充電ケースが付属していない場合は、標準の接触式充電ケーブルを使用して送信機を充電することができます。送信機の充電接点が接触式充電ケーブルの基部に近づけ、磁力によって自動的に吸着して送信機を充電することができます。

操作ガイド

送信機と受信機のペアリング

1. 充電ケースから取り出すと、送信機と受信機の電源が自動的に入ります；
2. 送信機と受信機は出荷前にペアリング済みのため、スイッチオン後、製品は自動的にペアリングされます。ペアリングが成功すると、送信機と受信機のインジケータランプが青色で常時点灯します。

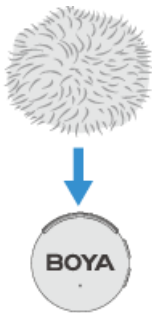
ペアリングが成功しない場合は、次のペアリング操作を行ってください：

- ①送信機オフの状態で、電源ボタンを 5 秒間長押しすると、インジケータが青色に早く点滅し、ペアリングモードになります。
- ②受信機オフの状態で、電源ボタンを 5 秒間長押しすると、インジケータが青色に早く点滅し、ペアリングモードになります。
- ③ペアリングが成功すると、送信機と受信機の両方のインジケータが青色に常時点灯します。

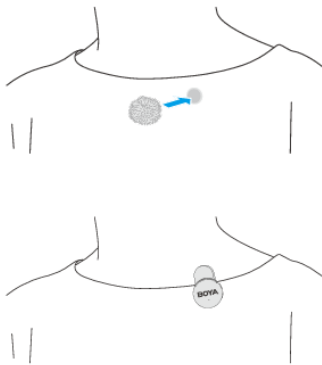
3. 送信機を複数の受信機とペアリングする場合は、送信機が 1 台目の受信機とのペアリングに成功した後、2 台目の受信機の電源ボタンを 5 秒間長押しすると、そのインジケータが青く早く点滅してペアリング状態にさせ、ペアリングが成功した後、2 台目受信機のインジケータが青く常時点灯します。他の受信機も同じ方法で順にペアリングすることができます。送信機 1 台は同時に 4 台までの受信機と接続できます。

送信機の装着

1. 屋外での録音や風の強い環境では、クリアな録音を維持するためには、送信機に防風フリースを装着することをお勧めします。



2. 送信機は、マグネットバッククリップで衣服にクリップしたり、マグネット吸着タブで衣服に取り付けて使用することができます。



モバイル機器への接続

- ・標準的な Lightning または USB-C アダプターを受信機に接続し、対応するインターフェイスを備えた携帯電話、タブレット、コンピューター、またはその他のデバイスを接続します。
- ・BOYA Central や他のアプリで音声や映像を録音できるようにします。アプリが適用される場合は BOYALINK 3 外付けマイクを選択します。
- ・ノイズの多い環境では、送信機のノイズ低減キーを短押しすることでノイズ低減モードをオンにし、受信機の設定キーでノイズ低減ギアの強弱を切り替えることで、録音効果を高めることができます。

ノイズ低減モードの推奨使用シーン

強モード：街頭、スタジアム、地下街、駅、工事現場など、ノイズの多い環境での使用に適しています。

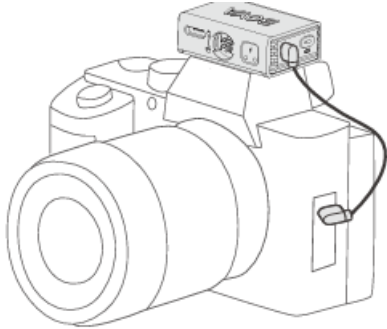
弱モード：電話着信音、車ブレーキ音、水の流れる音、プリンターの動作音など、軽度のノイズを遮断する場合に適します。

ヒント：受信機をスマートフォンやパソコンなどのデバイスに接続する場合は、BOYA Central アプリを使用して音声を録音することをお勧めします。このアプリでは、送信機と受信機のスマートファンクションボードの調整、ファームウェアのアップグレードやパラメータ調整などの操作も可能です。

カメラに接続して使用する場合

受信機の標準配置 3.5 mm TRS ツーTRS オーディオケーブルで、受信機の 3.5 mm TRS オーディオ出力をカメラやミキサーなどに接続すると、送信機で録音した音声を受信機に接続したカメラやミキサーなどに送信されます。

注：カメラを接続する場合は、BOYA Central アプリで対応するカメラのブランドとモデルを選択し、ベストな録音効果を確保するために、録画開始する前に受信機とカメラのゲインプリセットを完了することをお勧めします。詳細については、公式ウェブサイトの BOYALINK 3 カメラゲインプリセットの説明を参照してください。



ヒント：

1. 正式な録音の前に、短い録音テストを行い、オーディオレベルが問題ないか確認することをお勧めします。
2. 録音環境が騒がしい場合、送信機のノイズ低減キーを短押しするとノイズ低減機能がオンになります。両方の送信機のノイズ低減機能は同時にオンまたはオフになります。また、受信機の設定キーをダブルクリックして最適なノイズ低減レベルを選択し、録音効果を向上させることもできます。
3. 録画後は充電ケースに入れて充電してください。

注意：2.4GHz 帯の電波は干渉しやすいため、壁や建物などの障害物を避け、高出力の Wi-Fi アンテナや無線機など、2.4GHz 帯の周波数に近い機器はなるべく避けてください。

トラブルシューティング

本機をご使用中に発生したトラブルについては、下記をご参照ください。それでも解決しない場合は、お近くの販売店アフターサービス部までご連絡ください。

・録音したが、音声がない

- ①送信機と受信機が正常にペアリングされ、両方のインジケーターが青く常時点灯していることを確認してください。未接続の場合は、ペアリング操作してください。
- ②送信機がミュート状態になっていないか確認してください。送信機のインジケーターが赤くゆっくり点滅している場合は、送信機の電源ボタンを短押ししてミュートを解除する必要があります。

・送信機は受信機とペアリングできない

送信機と受信機の電源がオフになっていることを確認し、電源がオンになりインジケーターが青く点滅するまで電源ボタンを 5 秒以上押し続けてから離してください。さもなければ、ペアリングモードになりません。

・距離制限、音声の変化及びノイズ発生

- ①現在の使用環境に、高出力の無線ルーターや無線機器による干渉がないことを確認してください。やむを得ない場合は、適切な距離と角度を見つける必要があります。
- ②2.4GHz 帯の電波は干渉しやすいため、壁や建物などの障害物を避け、高出力の Wi-Fi ア

ンテナや無線機など、2.4GHz 帯の周波数に近い機器はなるべく避けてください。

③受信機が緩んでいないかチェックし、受信機のプラグを抜き、再度差しなおしてください。

・起動不能

長期間使用しなかったためにバッテリーが上がっている場合は、製品を充電してください。

充電ケースで送信機や受信機を充電できない

①バッテリー残量が極端少ない原因か否かを判断するために、充電ケースを充電してください。

②充電接点が接触していないか、きれいな布で充電接点を拭き、再度確認してください。

③磁気が老化していないか、充電接点が接触していないか、送信機または受信機を手で押して充電状態に入ることができるかどうかを確認することができます。それでも充電できない場合は、カスタマーサービスにご相談ください。

パラメータ

送信機 (BOYALINK 3-TX)

伝送方式	2.4GHz デジタルバンド
伝送距離	300m (バリアフリー)
極性モード	無指向性
RF 出力	<10 dBm
歪率	≤ 0.1%
周波数特性	20 Hz～20 kHz
感度	-32 dB
基準オーディオ入力レベル	-20～-42 dBu (MIC 入力。0 dB ゲイン)
サンプル・レート	48 kHz
ビット深度	24-bit
信号対雑音比	>85 dB
オーディオ入力	内蔵式コンデンサーマイク
最大音圧レベル	115 dB SPL
電源モード	内蔵リチウム電池電源
バッテリー容量	130 mAh
バッテリー持続時間	約 6 時間
充電時間	約 1.5 時間
重量	7g
外形寸法	Φ26.1×10mm (直径*高さ) マグネットパッドおよびマグネットクリップを含まない
動作温度	0～50℃
保管温度	-20℃～50℃

受信機 (BOYALINK 3-RX)

伝送方式	2.4GHz デジタルバンド
伝送距離	300m (バリアフリー)
極性モード	無指向性
歪率	≤ 0.1%
周波数特性	20 Hz～20 kHz

信号対雑音比	>85 dB
オーディオ出力	Lightning/USB-C デジタル出力
バッテリー容量	240 mAh
バッテリー持続時間	約 14 時間
充電時間	約 1.5 時間
重量	16.5 g
外形寸法	44.2 × 20.79 × 22 mm (長さ×幅×高さ)
動作温度	0° C～50° C
保管温度	-20° C～50° C

充電ケース ((BOYALINK 3-CC)

バッテリータイプ	内蔵リチウム電池
バッテリー容量	1500mAh
充電方法	USB-C ポート
充電時間	約 2 時間 (5V 2A)
対応可能充電サイクル回数	1.5 回以上 (2*送信機)
重量	108.5g
外形寸法	108 × 42 × 42 mm (長さ×幅×高さ)
動作温度	0° C～50° C
保管温度	-20° C～50° C

www.boyamic.com

SHENZHEN JIAYZ PHOTO INDUSTRIAL., LTD.

The BOYA logo is a trademark which is registered and owned by Shenzhen Jiayz Photo Industrial., Ltd.

深圳市长丰影像器材有限公司

地址：广东省深圳市龙华区观澜街道大富社区硅谷动力智能终端产业园A16栋

TEL: 400 613 1096 Email: support@boya-mic.com

www.boyamic.com / www.jiayz.com